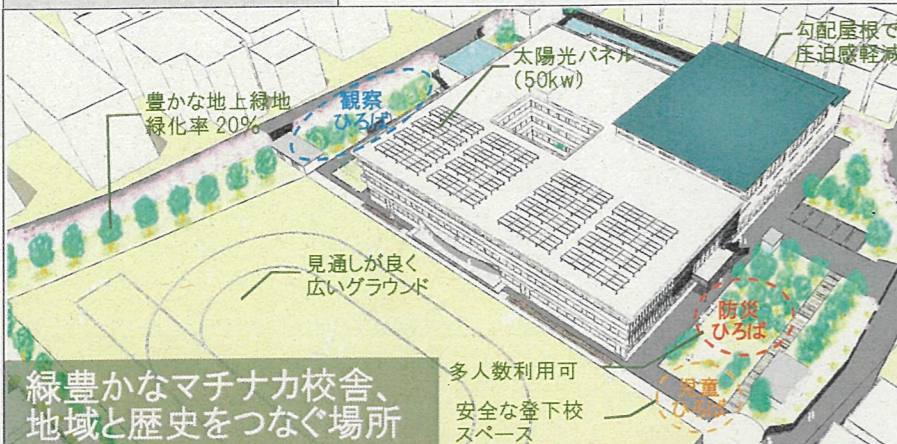


件名 桜岡小学校建替え工事に伴う設計業務委託

事務所の商号又は名称 株式会社白川設計



緑豊かなマチナカ校舎、地域と歴史をつなぐ場所

豊かな学習環境を育み、歴史ある学校と地域をつなぐ施設計画

- 開放的でコンパクトな校舎と外部空間の有効的な利用
・建物をコンパクトにまとめ周辺住宅への日影と圧迫感を軽減します。
・校舎の各面を開放し教室への安定した採光と通風を取り入れます。
・昇降口へアクセスしやすい西側に新正門を設け、児童の安全な登下校時のため、交流に配慮した児童ひろばを設けます。
・車両給食用の出入口は南西側とし正門と分離し安全性に配慮します。
・東側観察ひろばは、飼育小屋、学校農園(さくらこファーム)、ビオトープなど多様な生物学習の場とします。
・南西側は防災施設と体育館が連携可能な地域防災ひろばとします。

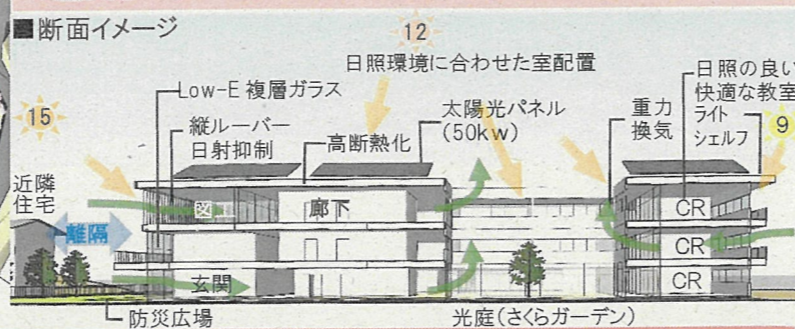
- 安全な移動動線と良好な学習空間
・中央昇降口は各門からのアクセスしやすいエントランスとし、メイン動線となるみんなの階段は、開放的で幅が広く登下校時や避難時も安全に通行できる階段とします。
・コンパクトな回遊廊下は二面開放の吹抜けに面し移動性と安全性を高め、突き当たりスペースは避難器具により二方向避難、廊下への採光、通風の確保、学年毎のWSとしても有効利用します。
・普通教室は日当たりが良く風通しがよい南東側とし、3~4CRの学年ごとのまとまりが作りやすいクラス配置とします。バルコニーは二方向避難、ライトシェルフやメンテナンス用として設置します。
・特別教室は西側にまとめ、普通教室エリアと明確に区別します。廊下のスペースは作品展示や異学年交流に活用します。多目的室は普通、特別教室と相互利用により多様な学習を創出します。
・図書室は児童が身近に本に触れる環境となる昇降口前とします。隣接した木製デッキテラスの光庭(さくらガーデン)は、明るく過ごしやすい読書スペースとして図書室と一体的に利用します。

- 児童の安心安全を守る管理ゾーン
・職員室、校長室はグラウンド、正門及び昇降口を見渡せ、児童の安全を見守ります。近接した相談コーナーは教員と児童の日常的な交流の場とします。
・保健室はグラウンドからアクセスしやすく、個別・特別支援教室の児童の心のケアにも配慮します。
・管理諸室は1階にまとめ児童エリアと分けることで、教職員のコミュニケーションを活発にします。
・配膳ホール前の食育ホールはスムーズな配膳と食育インフォメーションを促す場とします。
・PTA や地域交流室は1階西側にまとめ単独運用に配慮します。

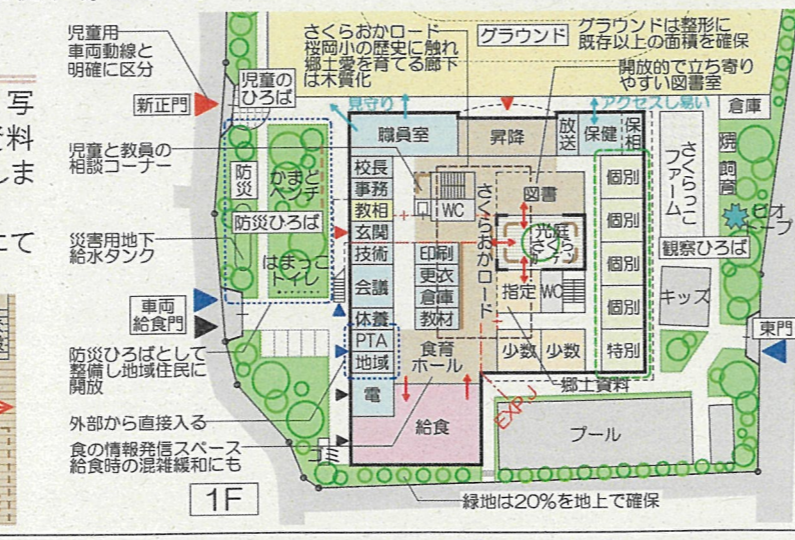
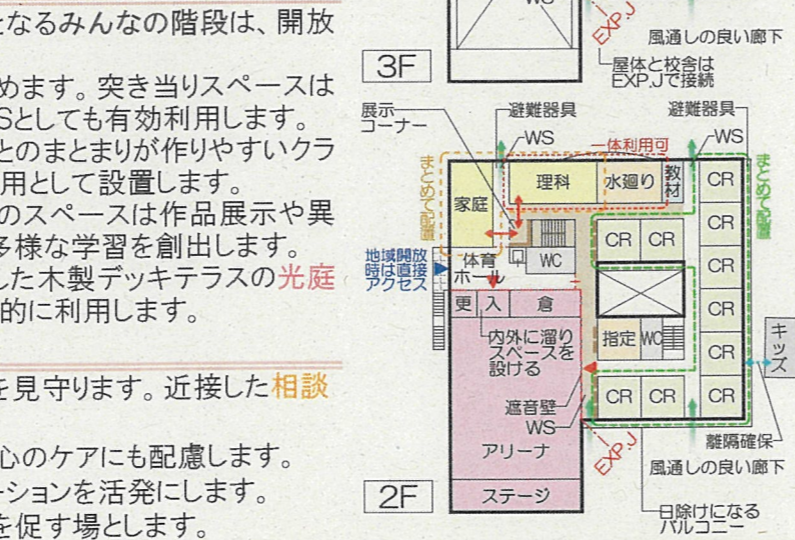
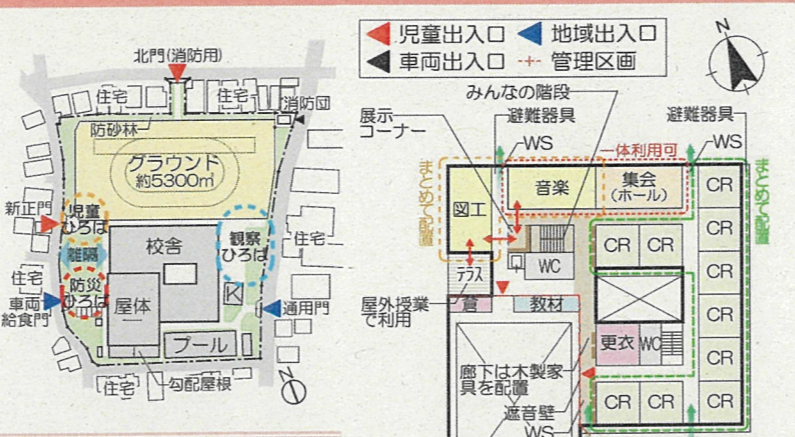
- 伝統ある学校の歴史継承と地域交流
・さくらおかロードは創立110年の歴史を持つ桜岡小学校の成立年表、写真、歴史展示により過去~現在~未来を繋ぎます。多目的室(郷土資料室)や図書室と連携、地域性や郷土、風土を学ぶことができるエリアとします。
・2階体育館へは屋外階段で直接アプローチ可能とし、管理シャッターにて学校エリアと区画することで安全な地域開放に対応します。



上大岡駅近く住宅地の中にある、歴史の長い小学校。街中で自然に触れ、子どもの豊かな感性を育て、地域に根ざし歴史をつないでいくことができる学校を提案します。



提案項目(1)



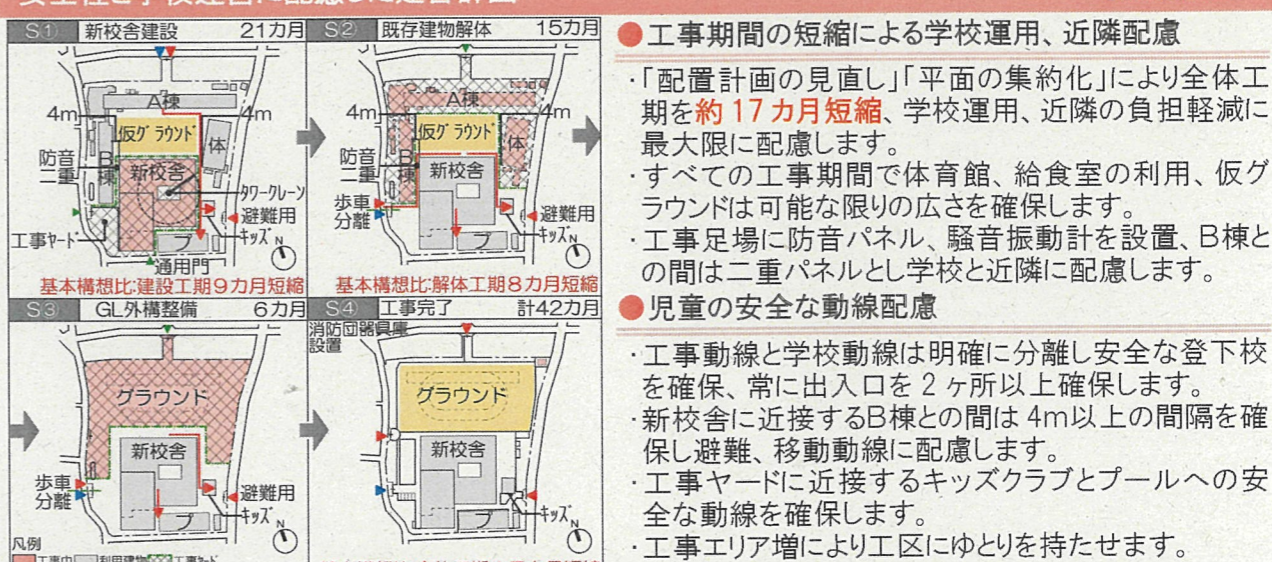
脱炭素社会に向けた学校施設のZEB化・木材の有効活用 提案項目(2)

- ZEB-Ready 達成に向けて
・外皮面積削減、庇・ルーバーによる日射抑制、高断熱化により外皮負荷を40%以上削減します。
・高効率EHP・GHP、全熱交換器、LED照明等により、一次消費エネルギーを50%以上削減します。
・太陽光発電(50kW)を設置し再生可能エネルギーも利用します。(PPA事業の活用も検討)
・BELS評価認証によるZEB-Ready目標にします。
・建物の総合的評価認証CASBEE-Sランク取得。

ライフサイクルコスト削減に向けた建物計画 提案項目(3)

- 建設費用の削減のための具体的な方策
■コンパクト化によるコストカット
・建築面積減による杭の本数 →約16本の杭削減
・工期短縮で経費 ↓ →約17カ月(約0.25億)縮減
・既存杭残置で解体費 ↓ →校舎B棟分(約0.34億)縮減
■躯体費用削減に伴うコストカット
・用途係数の異なる校舎と体育館はEXP.Jにより構造上分離、校舎躯体量を抑制します。
・バルコニーは普通教室にのみ設置し施工床面積を縮減、一部PC工法の採用で現場作業減による工期短縮を図ります。
・地下ピットを最小限化、高支持力杭により杭長、杭径検討し掘削土量を減らし残土処分費を縮減します。

安全性と学校運営に配慮した建替計画 提案項目(4)



高品質な成果物を可能とする業務体制 提案項目(5)

- 成果物の品質向上を図るために
・横浜市公共建築物に精通した設計技術者が、設計~監理まで一貫的に取り組みます。
・BIM(設計~維持管理)により緻密な検証及び迅速な合意形成、高品質な設計図書を作成します。
・フロントローディングにより早期に課題整理表を作成・実行し未検討事項や手戻りを抑止します。
■積算業務における精度向上
・昨今の物価上昇を踏まえたコストチェック及びダブル・クロスチェックを徹底し積算ミスを防止します。
・BIMにより躯体ボリューム積算を行いアプローチの異なる積算チェックにより精度向上を図ります。